

アジ研

ワールド・トレンド

2

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

2010

第173号

特集●

マイクロファイナンス
変容しつづける小規模金融サービス

分析レポート●

中国黒龍江省の対ロシア貿易
中国と台湾の対話再開



-
- 1 巻頭エッセイ マイクロファイナンスの挑戦 福井 龍
-

特集 マイクロファイナンス—変容しつづける小規模金融サービス

- 2 ●特集にあたって 濱田美紀
 4 ●マイクロ健康保険—購入動機の分析 高野久紀
 8 ●マイクロクレジット商品に対する顧客の選択—インドネシアの事例 塚田和也
 12 ●マイクロクレジットのインパクト—貧困削減への含意 高橋和志
 16 ●自営業世帯の分析—起業選択モデルから 東方孝之
 20 ●マイクロファイナンスの商業化—資金不足の解消方法 濱田美紀
-

- 24 フォト・エッセイ 中国における農業水利の諸形態——最近の調査事例から 山田七絵
-

- 28 分析レポート 中国黒龍江省の対ロシア貿易—辺境貿易を中心に 平泉秀樹
-

- 36 中国と台湾の対話再開—海峡兩岸関係の道筋 松本はる香
-

- 45 連載／すぐに役立つ開発指標の話 第2回 人間開発指数(HDI) 野上裕生
-

- 47 異文化 言い分 EVEN

日本での生活

サンヤクセン・アールン

パリ滞在記

孟 渤

- 49 ブックシェルフ

新刊紹介／坂田正三編『変容するベトナムの経済主体』(研究双書No.579)

坂田正三

新刊紹介／近藤則夫編『インド民主主義体制のゆくえ—挑戦と変容』(研究双書No.580)

近藤則夫

レファレンスコーナー／アフリカに関する国際機関の教育統計

岸真由美

- 52 アジア各国・地域 経済統計 研究支援部研究情報システム課
-

- 56 研究所だより
-

◆表紙写真：マイクロクレジットの融資先、零細ビジネス(おもちゃ)の仕事場。インドネシア東ジャワ州グレスック県2007年5月3日 (撮影：濱田美紀)

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

▶ アジ研図書館展示会『アジアの伝記—激動のアジアに生きた人々の自伝・評伝・回顧録—』のご案内

アジア経済研究所図書館は、設立以来50年にわたりアジア各国の発展に影響を及ぼした政治家、思想家、実業家、文学者など多くの人々の伝記や回顧録を収集してきました。これらの資料は人物の生き方を通して激動の時代の社会、政治、経済を知る手がかりとなる重要な資料群です。これらの伝記・回顧録の展示会を下記のとおり行います。毛沢東、ガンジー、鄧小平、アウンサン・スー・チー、ベナジル・ブット、後藤新平の伝記をはじめ500冊を展示します。伝記に掲載された興味深い写真や談話を手にとってご覧いただければと思います。



期 間：2月1日(月)～2月25日(木) 10:00から18:00まで

開催期間中の休館日は <http://www.ide.go.jp/Japanese/Library/Info/index.html> でご確認ください

場 所：アジア経済研究所図書館1F（最寄り駅JR京葉線海浜幕張駅徒歩10分、JR総武線幕張駅徒歩20分）

展示資料：関連図書約500冊 国別・人物別に図書を並べ、特に重要な図書については簡単な説明文もつけて展示いたします

問い合わせ：資料サービス課 TEL：043-299-9716 までお願いします

配布資料：「アジアの伝記」 出展資料目録

▶ Base of Pyramid (BOP) ビジネスをテーマに3月東京でシンポジウム開催

発展途上国における社会課題解決型官民連携ビジネスモデルや市場としての途上国の可能性について我が国の企業に普及し、啓発を図ることを目的として下記のとおりシンポジウムを開催いたします。

日 時：3月9日(火) 13:00から17:30まで（予定）

場 所：東京国際フォーラム・ホールB5

JR線 有楽町駅より徒歩1分 東京駅より徒歩5分

地下鉄 有楽町線 有楽町駅 日比谷線 銀座駅/日比谷駅 千代田線 二重橋前駅/日比谷駅 丸ノ内線 銀座駅
銀座線 銀座駅/京橋駅 三田線 日比谷駅

聴講無料／日英同時通訳サービスあり

詳しくは近日中にウェブサイトにてご案内いたします。 <http://www.ide.go.jp/Japanese/Event/index.html>

お問い合わせ：成果普及課 TEL：043-299-9536

▶ 最近の海外来訪者

チリ=Dr. Marcos Jaramillo（カトリック大学・アジア研究プログラム長）=12月4日

アジア経済研究所賛助会へのお誘い

賛助会員アジア経済研究所の各種活動を幅広くご支援・ご賛同いただくとともに、その研究成果を最大限にご利用いただくための会員制度です。開発途上地域の諸問題に関する最新情報の提供をはじめ、セミナー、講演会、催し物のご案内、各種料金の割引など、さまざまな特典があります。ぜひご入会ください。年会費は、法人会員14万円、個人会員1万円です。

詳しくは TEL 成果普及課(賛助会担当) TEL：043-299-9536 E-mail：members@ide.go.jp までご連絡ください。

『アジ研ワールド・トレンド』

第16巻第2号 通巻173号

2010年2月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所

研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3丁目2番2

TEL 043(299)9735 FAX 043(299)9736

<http://www.ide.go.jp>

印刷

社会福祉法人東京コロニー コロニー印刷

3月号の特集の予告

『アジ研図書館50年の足跡と未来——蔵書構築・情報発信の課題』

開発途上国研究資料センターを目指して歩んできたアジ研図書館の50年を振り返り、「現地主義」に基づいて構築した蔵書の特質とデジタルライブラリーの未来を考える。

（3月1日刊行予定。タイトルは変更することがあります）

本誌に対する御意見、ご要望をお寄せください。また、最近お読みになった特集、記事でおもしろかったもの、お役にたったものなどお聞かせ願えれば幸いです。

Fax: 043-299-9736 email: syuppan@ide.go.jp

新刊のご案内

研究双書 No.582

若林正丈編 『ポスト民主化期の台湾政治—陳水扁政権の8年—』

2000年、歓喜に包まれて生まれた陳水扁政権は、何故、2008年、失望にまみれて退場することになったのか。台湾と東アジアにとって、この8年間は何かあったのか。

| | | |
|-----|----------------------------------|-----------------------|
| 序章 | 李登輝が残したコンテキスト—ポスト民主化期の「憲政改革」 | |
| 第1章 | 陳水扁の政権運営 小笠原欣幸 | |
| 第2章 | 金権政治の再編と政治腐敗 松本充豊 | |
| 第3章 | 国民党の政権奪回—馬英九とその選挙戦略 | 松本充豊 |
| 第4章 | 台湾における多文化主義政治と運動 | 張茂桂 (田上智宣・竹内孝之・佐藤幸人訳) |
| 第5章 | ポスト民主化期における租税の政治経済学 | 佐藤幸人 |
| 第6章 | 「選挙上手」はどの政党だったのか?—台湾立法院選挙集票構造の分析 | 若畑省二 |
| 第7章 | 改善の「機会」は存在したか?—中台対立の構造変化 | 松田康博 |
| 第8章 | 「最良の関係」から「相互不信」へ—米台関係の激変 | 松田康博 |
| 第9章 | 国際空間の拡大?—「実体」としての国際参加 | 竹内孝之 |

ISBN 978-4-258-04582-2 ¥4,200+税

研究双書 No.583

柏原千英編 『開発途上国と財政—歳入出、債務、ガバナンスにおける諸課題—』

途上国政府が財政改善を行うのは、なぜ困難なのか。税制から金融政策、債務問題やガバナンスなど、多様な要因と問題の所在を事例・理論研究の双方から解明する。

| | | |
|-------|--------------------------------|-------|
| 序章 | 開発途上国と財政をめぐる問題の諸側面 | 柏原千英 |
| 第1部 | 歳入(税収)と再分配における制度設計と改革 | |
| 第1章 | フィリピンにおける租税制度の課題 | 鈴木有理佳 |
| 第2章 | ベトナムにおける市場経済化と政府間歳入割当 | 花井清人 |
| 第3章 | エジプトにおける外生的レント収入と財政運営 | 土屋一樹 |
| 第4章 | 韓国における経済危機以降の財政運用—特徴とその評価— | 鞆重鋪 |
| 第5章 | インフレ税、成長に伴う通貨発行益(シニョリッジ)と途上国財政 | 国宗浩三 |
| 第II部 | 中長期的課題としての債務管理 | |
| 第6章 | マレーシアにおける公的債務管理の制度的枠組み | 中川利香 |
| 第7章 | フィリピンにおける公的債務管理と財務行政の課題 | 柏原千英 |
| 第III部 | ガバナンスおよび貧困削減と財政 | |
| 第8章 | 財政ガバナンスに関するマクロ経済分析 | 小山田和彦 |
| 第9章 | ジェンダー予算とガバナンス | 野上裕生 |

ISBN 978-4-258-04583-9 ¥3,600+税

アジア研選書 18 現代中国分析シリーズ 3

池上彰英・寶劍久俊 編 『中国農村改革と農業産業化』

中国経済のアキレス腱と言われる「三農問題」。しかし農村改革と農業産業化によって、農村部も大きく変化している。本書は一次資料と現地調査からその実態を解き明かす。

| | | |
|------|--|-------------|
| 序章 | 農村改革の展開と農業産業化の意義 | 池上 彰英・寶劍 久俊 |
| 第1部 | 中国農村改革の展開とその実態 | |
| 第1章 | 農業問題の転換と農業保護政策の展開 | 池上 彰英 |
| 第2章 | 農業構造の転換と農村金融改革 | 陳 劍波・池上 彰英 |
| 第3章 | 農村労働力の非農業就業と農民工政策の変遷 | |
| 第4章 | 中国における食品安全政策・政府の管理体制の現状と課題 —主要な法律・政策の整備状況— | 森 路未央 |
| 第II部 | 農業産業化による農業生産構造の変容 | |
| 第5章 | 農業生産構造の変化と農産物流通システムの変容 | 菅沼 圭輔 |
| 第6章 | 農産物市場における龍頭企業と農民の取引関係—豚肉産業を事例に— | 渡邊真理子 |
| 第7章 | 農民専業合作組織の変遷とその経済的機能 | 寶劍 久俊 |
| 第8章 | 農業産業化と農村リーダー —農民専業合作社成立の社会的文脈— | 田原 史起 |

ISBN 978-4-258-29018-5 ¥3,300+税

「アジアを見る眼」シリーズ No.112

田部 昇著 『インド 児童労働の地をゆく』

インドの伝統的手織りカーペット、宝飾品、染織品。その生産現場には学校にも通わずに働く幼い子ども達の姿がある。1990年代に実施した生産現場での詳細な調査に基づきインドにおける児童労働の実態を報告、いま、なぜ児童労働か、を問う。

| | | |
|-----|-----------------------------------|--|
| 序章 | 児童労働の地をゆく | |
| 第1章 | いま、なぜ、児童労働か | |
| 第2章 | シバカシ村のマッチ工女—なぜ子どもの労働が必要とされるのか | |
| 第3章 | タール砂漠の児童労働—技能承継・債務労働・不就学 | |
| 第4章 | ガンジス平野のカーペット村—ミルザプル・バードイ村のドゥーリー織り | |
| 第5章 | カルカッタのスラムと児童労働—ハウラー橋からスラムへの道 | |
| 第6章 | 西ガーツ山脈を越える児童労働—ウディビ村から街の厨房へ | |
| 第7章 | 不就学児童労働を考える—なぜ、子どもは学校に行けないのか | |
| 終章 | インドの経験—もうひとつの「野麦峠」 | |

ISBN 978-4-258-05112-0 ¥1,400+税

- ご購入・お問い合わせは、研究支援部・出版企画編集課 出版物販売係までお願いします
tel: 043-299-9735 fax: 043-299-9736 e-mail: syuppan@ide.go.jp
- アジア経済研究所の出版物は、ウェブサイト <http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/index.html> でもご案内しております。サイトからメールによる直接ご購入申し込みができます



——中東の街角で——
ダマスカス

旧市街を縦断する「まっすぐな道」。午後になると下校する生徒を待つスクールバスが集合する。(撮影：土屋一樹)